

平成22年度 学校関係者評価報告書

評価点

自己評価		学校関係者評価	
A	高いレベルで達成できた	A	とても適切である
B	達成できた	B	概ね適切である
C	一部達成できなかった	C	あまり適切でない
D	ほとんど達成できなかった	D	適切でない
		E	判定できない

学校(園)名: 広島大学附属中・高等学校

分野	重点目標 (評価項目)	年度計画(中期計画・ 中期目標)との関連性	具体的方策	成果指標・判断基準	自己評価		学校関係者評価		学校関係者評価を 踏まえた改善策
					達成状況, 改善策	評価	意見・理由	評価	
教育課程・ 学習指導等	進路指導	【全国的に模範となる教育を行うための具体的方策】	①中学校、高等学校においてキャリア教育を行う ②学力の向上を図る	①キャリア講座を開催し、大学訪問を行う ②補習授業を行うとともに自習室をつくる	①キャリア講座を開催した ②高校1年生に対して大学訪問(広島大学)を実施した ③高校1・2年生に対して東大キャンパスツアーを実施した ④全学年に補習授業を実施した	B	③東京の大学を訪問し、卒業生や大学教員から直接話を機会を持つ事は、大きな刺激になる。	B	近畿圏のキャンパスツアーが可能であれば実施したい。大学進学実績が改善しつつある。
	教育実習	【大学・学部との連携・協力の強化に関する具体的方策】	①教育実習関連各種行事を遂行する。 ②教育実習生への支援を行う	①大学の計画遂行に協力する ②実習生の評価を行う	①教育学部の実習に加え、医学部および歯学部の養護実習を予定通り実施した ②実習生の評価は概ね良好であった	A	教育実習生の指導は附属学校として当然やるべき事であり、大変だろうがしっかりとやって欲しい。	A	進捗等の影響を解消すべく、計画的な実習指導を実施したい。
教育研究等	スーパーサイエンスハイスクール	【全国的に模範となる教育を行うための具体的方策】 【大学・学部との連携・協力に関する具体的方策】	①計画に基づいた研究開発を実施する ②研究・指導体制づくりをする	①本年度の予定に加えて、特別枠のドイツ研修を実施し、その成果を上げる ②各委員会が機能し、各教科の取組が行われる	①予定のプログラムを実施するとともに、特別枠で韓国およびドイツ研修を行った。課題研究が日本学生科学賞を受賞した。 ②研究推進委員会、運営指導委員会を開催し、各教科の取組も順調である。	A	各種の取り組みが大変活発になされており、驚いている。生徒にはいい影響が出るはずである。	A	特定の教員に負担が偏らないように配慮していきたい。
	中等教育研究大会	【全国的に模範となる教育を行うための具体的方策】	①各教科において、授業公開・研究発表を行う。 ②講演会を行い、教育の諸問題への関心を高める。	①大会参加者が昨年度を上回る ②アンケート調査で「有意義だった」が7割を上回る	①大会参加者は372名で、昨年度の297名を上回った ②「参考になった」がほぼ100%であった	B	参加者増の原因を分析し、さらに増やす努力をしてほしい。	B	土曜日開催の是非について、引き続き検討していきたい。
	学部・附属共同研究	【大学・学部との連携・協力の強化に関する具体的方策】	①大学・学部と共同して研究プロジェクトに参加する。 ②成果を「紀要」にまとめる。	①研究プロジェクトへの積極的参加 ②「紀要」への掲載件数	①本年度のプロジェクト参加は昨年度とほぼ同等で11件あった ②上記プロジェクトの結果はいずれも今年度末発行の「紀要」に掲載予定である	B	いろいろな研究によく取り組んでいる。	B	教科等で研究に取り組む姿勢を維持していきたい。
社会連携・ 社会貢献活動等	ユネスコ	【学校運営の改善に関する具体的方策】	①ユネスコ教育に関する情報の収集と発信 ②ボランティア活動への参加	①校内研修会の開催と研究開発への協力 ②チャリティ活動などの実績	①校内研修会を開催し、研究開発への協力があつた ②募金活動を実施した ③第2回ユネスコスクール全国大会に参加した	B	SSHに協力してESDに関する研究を先進的に行っている。	B	ユネスコスクールとして先進的な研究を実践していきたい。

注) 太枠内は、学校関係者評価委員会が記入する。

## 平成21年度 学校関係者評価報告書

評価点

自己評価		学校関係者評価	
A	高いレベルで達成できた	A	とても適切である
B	達成できた	B	概ね適切である
C	一部達成できなかった	C	あまり適切でない
D	ほとんど達成できなかった	D	適切でない
		E	判定できない

学校(園)名: 広島大学附属中・高等学校

分野	重点目標 (評価項目)	年度計画(中期計画・ 中期目標)との関連性	具体的方策	成果指標・判断基準	自己評価		学校関係者評価		学校関係者評価を 踏まえた改善策
					達成状況, 改善策	評価	意見・理由	評価	
学校経営・安全管理等	学校運営	【学校運営の改善に関する具体的方策】	①各種検討委員会の設置 ②校内運営委員会の開催	①各委員会の答申内容 ②各部・学年の情報提供と問題の解決	①予算・人事・カリキュラムの各委員会で検討を重ねた ②学校運営の改善につながっている	B	中学校の7限授業実施による部活への影響が心配である。	B	中学校7限授業は無理なく定着したが、その検証が必要。
	施設・設備	【学校運営の改善に関する具体的方策】	①校舎周辺の整備 ②校内一斉配信システムの構築 ③テニスコート周辺の整備	①校舎周辺整備による効果 ②利便性 ③利便性	①外観が格段に向上した ②諸連絡を機能的に配信することができた ③授業・部活や試合等の待機・休憩場所等の利便性が高まった。	A	テニスコート周辺整備、2号館壁面等への校名の箱文字のとりつけなど、施設や外観が一段とよくなった。	A	3号館の改修が決まり、中学校HR教室等が整備される事となった。
	人事	【公立学校との人事交流を生かした教員研修に関する具体的方策】	①現職教員の受け入れ ②教職員の増員	①研修として、公立の学校から現職教員を受け入れる。 ②「情報」「工芸」の教員、事務職員の増員	①受け入れなし ②増員なし	C	県や市からの研修教員は積極的に受け入れるべきだ。	C	残念ながら今年度は研修の受入はなかった。来年度の受入予定は決まっている。
その他	国際交流	【全国的に模範となる教育を行うための具体的方策】	①生徒の海外研修を実施する ②海外からの生徒を受け入れる	①充実したプログラムの作成 ②30名以上の参加 ③海外からの生徒受け入れ	①豪、英へのプログラムは定着し、参加者は69名である ②ドイツより長期留学生を受け入れている	A	生徒の参加意識が高まり、毎年参加者数が増加している。	A	研修内容をさらに検討し、より満足のいくものとしていきたい。
	広報活動	【全国的に模範となる教育を行うための具体的方策】	①ホームページを利用した本校の教育活動の周知 ②学校紹介パンフレット等による広報活動	①ホームページの効果的な更新 ②学校案内、学校要覧等の内容の更新	①ホームページの内容を検討し、週1回以上更新を行った。 ②通常为学校案内、学校要覧に加え、英語版の学校案内を作成した。	A	ホームページの更新が多くなってきた。	A	ホームページ担当職員の配置により、内容をより充実したものにしていきたい。

注)  太枠内は、学校関係者評価委員会が記入する。